

株式会社サザコーヒー

茨城県ひたちなか市

需要獲得

サービス

素材第一主義を掲げたスペシャルコーヒーとして差別化 県内大学と提携したプライベートブランド開発

同社は、1969年創業し、コーヒー豆を輸入、焙煎、卸、販売する県内トップ企業である。「素材第一主義」をモットーに、海外のコーヒー産地を訪ね歩いて、生産者との厚い信頼関係を築きながら品質の確認を徹底、厳選したコーヒー豆を買いつけている。1996年には南米コロンビアに直営のコーヒー農園を開設。現在、茨城県内外に15店舗を展開し、コーヒーを通じた新たな文化の醸成と、市民の交流促進、地域の活性化に取り組んでいる。

所在地 茨城県ひたちなか市共栄町8-18
電話/FAX 029-274-1151/029-274-1010
URL <https://www.saza.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 鈴木 太郎

設立 1969年
資本金 2,560万円
従業員数 180人



海外のスペシャルコーヒー、プレミアムコーヒーの輸入、買付に特化している

同社は、世界のコーヒー産地であるパナマ、コロンビア、エチオピア等、各国の生産地品評会で優勝したコーヒーを、オークションで高値落札して、コロンビアの自社コーヒー農園に反映し自らも優勝している。また、高品質のスペシャルコーヒーとして、差別化しているグアテマラのサンセバスチャン農園、エルサルバドルのロス・ピリネオス農園の他5農園と年間契約し、同社の直接取引は90%である。海外品評会の国際審査員として社員約3名を派遣、世界のコーヒー豆の品質や流通価格等の動向を注視している。



サンパウロ州アリアンサ農園の風景

筑波大学、茨城大学、千葉大学、茨城キリスト教大と連携したコーヒーの企画、販売

同社は各大学と以下のような共同企画を行っている。茨城大学と、近代日本美術の先駆者、岡倉天心がボストンで飲んだコーヒーを「五浦コーヒー」として再現、筑波大学とサンパウロ大学等と協定締結記念にサンパウロの農園のコーヒーを輸入、「筑波大学アリアンサエステートコーヒー」を、茨城キリスト教大学では、初代学長が愛したコーヒーを氏名を取って「ローガン・フックス・コーヒー」として開発、千葉大学では、パナマ大との交流を記念し、「パナマ・千葉大学コーヒー」を販売している。



筑波大学アリアンサエステートコーヒー

茨城特産のリンゴ・イチゴ・栗などの農作物を食材としてケーキも販売

同社は、ケーキの製造、販売も行っており、リンゴのタルトは天子町、イチゴは銚田市、栗は笠間市など県内の農産物・特産品を使用することで消費拡大と地域振興に取り組んでいる。同社のケーキは水戸京成百貨店、水戸駅ビルエクセル、筑波3店など直営8店舗で販売。店舗内で使用するコーヒーカップや食器、その他備品(傘立て、トイレの水鉢等)は茨城県の笠間焼を使用している。テイクアウト用のコップは二酸化炭素の削減と環境問題の観点に立って、いち早くプラスチック製品から紙製品に切り替えている。



マリー様のモンブランケーキ

需要獲得

サービス